

須坂市教育委員会 1 月定例会 会議録

1 日 時 2023 年 1 月 27 日（金）午後 2 時 00 分 ～午後 4 時 00 分

2 場 所 須坂市人権交流センター 2 階会議室

3 出席した委員 教育長 小林 雅彦
教育長職務代理者 二ノ宮邦彦
教育委員 土屋 保男
教育委員 山下美知子

4 説明のため出席した職員

教育次長	清水 秀一
学校教育課長	中村 健司
子ども課長	山岸 和美
人権同和教育課長	丸山 絵里
学校給食センター所長	牧 俊彦
文化スポーツ課長	峯村 清一
生涯学習推進課長	寺澤 勝志
主任指導主事	後藤 昭彦
指導主事	宮崎 健
指導主事	北村 雅
指導主事	松木 智子

5 事務局出席職員

庶務係長	小林 貴彦
庶務係	土屋 真由

6 本日の会議に付した事項

1 学校等の状況報告について

2 議題

議案第 1 号 須坂市私立保育所等補助金交付要綱の一部を改正する要綱について

議案第 2 号 須坂市私立幼稚園等補助金交付要綱の一部を改正する要綱について

て

議案第 3 号 須坂市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について

議案第 4 号 須坂市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業並びに特定子ども・子育て支援施設等の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について

3 協議

- (1) 「教育の窓」
- (2) 教育委員と社会教育委員の懇談会について
- (3) 教職員組合からの要望事項に対する回答について

4 一般行政報告

- (1) 教育長出席行事の報告について
- (2) 行事共催等承認の報告について
- (3) 国名勝米子瀑布群現状変更の許可について
- (4) 卒業式・入学式における対応について
- (5) その他

5 その他

- (1) 教育委員会行事予定について
- (2) 須坂市教育委員会主催・共催大会等への出席について
- (3) 2023 年須坂市二十歳を祝う会の開催報告について
- (4) 2022 年度卒業式の出席者予定（案）について
- (5) 2022 年度卒園式の出席者予定（案）について
- (6) その他

教育長が開会を宣した。

1 学校等の状況報告について

教育長が説明を求め、主任指導主事が学校等の状況について説明した。

- ・教室以外で学習する児童生徒について、1 月 17 日現在小中あわせて計 64 名。小学校は 33 名で特別支援学級・サービス通級で、中学校は 31 名で学習室で学習・生活している児童生徒が多い。
- ・修学旅行では、今年度から行き先を東京方面に戻す学校が多かった。
- ・運動会や音楽会について、コロナで学年閉鎖となった際は別日に発表を行う等の

対応を行った。

- ・その他行事もコロナ対策をしつつ今までの活動に戻りつつある。
- ・支援学校では、参加者を限定して今年度より新たに「学校参観週間」を実施。感染状況が落ち着いたら地域の方々にも参観していただきたいと考えているようである。

教育長：

- ・教室外で過ごしている児童について、現在学校の内外で子ども達の居場所づくりが検討されている。どのような場所でも、子ども達がしっかりと学ぶことができるようにする。

2 議題

議案第1号 須坂市私立保育所等補助金交付要綱の一部を改正する要綱について

議案第2号 須坂市私立幼稚園等補助金交付要綱の一部を改正する要綱について

議案第3号 須坂市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について

議案第4号 須坂市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業並びに特定子ども・子育て支援施設等の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について

教育長が説明を求め、子ども課長が説明した。特に意見・質問無く、承認された。

3 協議

(1)「教育の窓」

教育長が求め、指導主事が発表した。

- ・日本教育新聞社が発表している2022年注目の教育キーワード10選の中で、須坂市に関係がある項目をピックアップ。
- ・「3 新しい時代の学校施設」について。須坂市では自由進度学習を各学校で行っているが、空き教室を利用する等自分の教室に固定するのではなく学校全体を学び舎としてどう利用していくのかが検討されている。また、教科に捕られない創造的な学びの空間については、学校毎に固定観念から抜け出してスペースを有効活用する必要がある。
- ・「6 幼児教育と小学校教育の「架け橋」」について。須坂市では昨年度から園・小の接続を積極的に進めている。今後は幼・保・小の架け橋を、学びの面からも進めていくことが課題。
- ・福井県福井市の公立中学校では、学年という枠がない縦割の構成をとっている。

学校行事や、生徒指導等の問題が発生した際も、全体で集まって話し合いを行い解決している。教科センター方式の校舎のため、子ども達が興味を持てるようなトピックや研究成果が展示されて意欲を掻き立てる工夫がなされていた。

- ・2023年に注目の教育キーワード10選については先日発表された。「4 通常の学級に在籍する特別な教育的支援を必要とする児童生徒への支援」については、個別の指導計画作成は増加しているが、まだ少ないのが現状。「5 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実」については、ICTを最大限に活用しながら、個別最適で協働的な学びの充実を図ることが必要であり、モデルづくりと研修を含む学校・教員への伴走支援が来年度のテーマであると思っている。
- ・「10 学校の部活動の地域移行」については、各教育委員会でかなり議論を進めなければならない。

教育長：

- ・「5 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実」については、色々な場面で取り上げられているが、現実的に両方のバランスが取れた一体的な充実は、教員も実践していくのに時間がかかると思う。総合的な学習の時間が導入されたとき、教員も専門にやってきたわけではないので実践していくのに時間がかかった。現場にはどうアプローチしていけばよいのか。

指導主事：

- ・極端かもしれないが例えば算数数学では、知識技能に関する部分はドリル等で個別最適な学びを、関数や図形等の皆で相談しながら進める問題は協働的な学びを等、個別最適な部分と協働的な部分をカリキュラムで整備しなければ、教員も混乱してしまうと思う。
- ・個別最適な学びが優先され、協働的な学びが押しのけられてしまう難しさがある。そうならないために整備する必要があると思っている。

委員：

- ・個別最適と協働的な学びを一時の流行り言葉で終わらせてはいけない。このふたつは学校現場にまだ浸透していないので、研究しながらやっていくしかない。
- ・2023年に注目の教育キーワードにも入っているが、質の高い教員の確保をしていかなければ学校は立ち行かなくなってしまうと危機感を持っている。

指導主事：

- ・自由進度学習について、一斉学習では補いきれない部分を補い、子ども達が自分の学習を振り返りながら学び方もあわせて振り返る自立した学習者を目指して行っている。それを実現するには教師の力が重要で、教材研究も行いきちんと授業を行うことができることが大切。

委員：

- ・先日の総合教育会議で上がっていた子どもの居場所づくりについて、費用の面で保護者負担が発生していた。義務教育期間は負担なく同じレベルの教育や場所があるべきなので、学校にいけない子ども達もいける公的な場所があればいいと思った。
- ・個別対応も大事だが、実際に社会に出たときの集団での生活も学ばなければならない。居心地がいいところだけで生活するのではなく、その他の場所でも対応する能力を学ぶ必要もある。
- ・先生の負担が大きいので、本来の教育業務に余裕をもって注力できる環境が大切。

(2) 教育委員と社会教育委員の懇談会について
教育長が説明を求め、学校教育課長が説明した。

(3) 教職員組合からの要望事項に対する回答について
教育長が説明を求め、学校教育課長が説明した。

4 一般行政報告

(1) 教育長出席行事の報告について
教育長が主だった出席行事について説明した。

(2) 行事共催等承認の報告について
教育長が説明を求め、学校教育課長が説明した。
・後援事業5件、うち新規1件。

(3) 国名勝米子瀑布群現状変更の許可について
教育長が説明を求め、文化スポーツ課長が説明した。

(4) 卒業式・入学式における対応について
教育長が説明を求め、学校教育課長が説明した。

(5) その他

教育長が説明を求め、学校教育課長が大雪での対応等について説明した。

5 その他

(1) 教育委員会行事予定について

教育長が説明を求め、各課長等が説明した。

(2) 須坂市教育委員会主催・共催大会等への出席について

教育長が説明を求め、学校教育課長が説明した。

(3) 2023 年須坂市二十歳を祝う会の開催報告について

教育長が説明を求め、生涯学習推進課長が説明した。

(4) 2022 年度卒業式の出席者予定（案）について

教育長が説明を求め、学校教育課長が説明した。

(5) 2022 年度卒園式の出席者予定（案）について

教育長が説明を求め、子ども課長が説明した。

(6) その他

特になし

教育長が閉会を宣した。